

献 辞

長年にわたり関西大学商学部、および商学会のために尽くされた酒井文雄先生は、1997年4月23日めでたく古稀の寿を迎えられました。

北陸の古都金沢の地において生を受けられた先生は、京都大学経済学部で学ばれた後、1954年4月本学に着任され、1968年4月教授に昇進、現在に至っております。その間、教育、研究の面においてはいうまでもなく、大学および学部の運営に関しても、多大の貢献をされてこられました。学園が大揺れに揺れた1969年10月から翌年3月にかけて商学部長代行兼学長代行代理を務められ、関西大学を混乱から救うべく尽力されました。その後も、大学院研究科長などの要職を歴任されております。

本商学部では、「原価計算論」を長年にわたり担当され、教育への強い情熱と深い愛情によって学生達に慕われ、実業界あるいは学界に数多の俊英を送り出されてこられました。ご専門の会計に関する研鑽の成果は、幾多の論文と二冊の著書をもって世に問われ、斯界での高い評価を受け、1989年3月には関西大学より商学博士の学位を授与されております。それとともに、会計理論学会常任幹事、日本会計研究学会評議員など学会の要職を歴任されて、斯学の発展に大いに寄与されてこられました。

先生は、すこぶる生真面目な性格で何事にも筋を通される一方、非常に心根の優しい方で、常にまわりの者に対し細やかな気配りを示され、私たち後進の者にとって教えられることが大でありました。

先生は、1998年3月末をもって関西大学を定年退職されることになりましたが、今後ともますますご健勝にして、商学部、商学会の発展のために、ご指導、ご鞭撻いただくよう願っております。私たちは、ここに先生の古稀を記念して『商学論集』の特集号を刊行し、足跡を回顧いたしますとともに、心からの感謝の意を表します。

1997年4月10日

商学部長 永 沼 博 道